

井泉

SEISEN
No.150



令和8年2月27日
富山県立八尾高等学校
井泉会

TEL (076) 454-2205
FAX (076) 454-5999

URL <http://www.yatsuo-h.tym.ed.jp>
E-mail yatsuoko@ed.pref.toyama.jp



ハートフルクリスマス



芸術鑑賞会 (高崎祭)



1年生地域学習ポスターセッション



八尾駅高架橋清掃ボランティア



大阪・関西万博 (郷土芸能部)



2年生企業見学



球技大会



黒瀬谷プロジェクト



2年生進路探訪 (滋賀県立大)

卒業生のみなさんへ



井泉会副会長
中邑 克信

三年生の皆さん、ご卒業おめでとう
ございます。井泉会副会長として、そ
して保護者の一人として、皆さんの門
出を心よりお祝いします。

高校生活の三年間、皆さんは学びや部
活動、仲間との時間を通して大きく成
長されました。時には悩んだり、壁にお
つかったりしたこともあったと思います。
それでも前を向き、自分の力で乗り越え
てきた姿は本当に立派でした。

そして、この三年間を支えてこれら
れたご家族の皆様にも、深く感謝を申し
上げます。毎日の励まし、支え、そし
て見守る気持ち、今日の卒業につな
がっています。保護者の皆様本当にお
疲れ様でした。

卒業生の皆さんは、これからそれぞ
れの新しい道へ進んでいきます。八尾
高校で得た経験、仲間との絆、そして
家族の支えを力に、自信をもって一歩
を踏み出してください。失敗を恐れず、
挑戦を続けてください。

最後に、これまで生徒を導き支えて
くださった先生方、地域の皆様へ深く
感謝申し上げます。卒業生の皆さんの
未来が、明るく豊かに輝きますよう、
心から願っています。

今、あえて読書をする
(現代社会で燃え尽きないために)



副校長
堺 康浩

八尾高等学校卒業生の皆さん、本校
での三年間の学びはいかがでしたか。
自分の高校三年生の一年間を思い起こ
すと、受験勉強に追われる中ではあり
ましたが、一年間で15冊ほど本を読め
ていました。ところが、現在は教職に
ありながらも、高校生の頃ほどは読め
てはいない毎日です。

本は手にしないけれど、スマート
フォンは一日何時間も離せない。多
くの現代人が感じているこの現状に
ついて、三宅香帆著「なぜ働いてい
ると本が読めなくなるのか。」にヒン
トを求めてみました。本は、自分が直
接は求めていない内容(フィーズ)を理
解しないと、展開を見失いそう。一
方でSNS等の「検索」機能は、欲

しいものだけをフィルタリングし、ノ
イズのないストレートな答えを与えて
くれる。結論に至るまでの時間が圧倒
的に短く、タイパの良いツールとして
SNSが有効なようです。

では、本を読むことでは、どのよう
な利点があるのでしょうか。三宅氏に
よると、現代社会は職業や進路選択の
自由があり、「自分で選んだ道」を最
大限に生かそうと努力を重ねる。知ら
ないうちに、自分を追い込む疲労を
生み、燃え尽きやすい社会だと述べて
います。その中で時には、自分とは
違った立場や人物の時間を楽しむこと
が読書によって実現できるといので
す。自分の興味から検索するインタ
ネットと違い、時間がかかるが、「情報」
を超えた「知識」が身に付くことも、
自分を解き放つ時間となり得るのが読
書の効果です。

高校生という枠から、自由と自己責
任が伴う社会に旅立つ皆さん。疲れを
ためこむ前に、書店に足を運んだり、
気になる本をタブレットにダウンロード
したりして、本に親しむ時間も作っ
てみることを是非お勧めします。

PTA活動報告

第74回

全国高P連大会参加して

副会長 谷口 秀啓

8月21日(木)、22日(金)の2日間にわたり、全国高P連大会三重大会が三重県津市で開催され、本校からは3名が参加しました。会場となった日硝ハイウエアアリーナは正式名称が「サオリーナ」であり、レスリングで活躍された吉田沙保里選手が津市出身ということからその名前が付けられています。

大会は「出会いはじまる常若のくに」「集い、想い、繋ぐ」三つの重なる明日への力〜をテーマに、人の関わりを大切に、知恵をしばり、明るい未来へ希望をつなぐ機会となるよう、取組紹介や意見交換が行われました。

私が参加した第4分科会では「Let's PTA」をテーマにPTA活動が、活気ある活動となるには企画をする人達も楽しめる(楽しみながらできる)ようにすることの大切さなど実演を交えながら聞くことができました。また、他の分科会では言葉掛けで意識が変わるなど対話や言葉選びの大切さについて聞くことができました。

2日目には記念講演が行われ、あずきバーで有名な井村屋の中島会長の講演が行われま

した。講演では学生時代に巻き込まれた火災事故で負った怪我で目標を失い、そこから大企業へのトップになるまでの経験で得た、知識や教訓などを語られました。また、記念講演前のアトラクションではテレビドラマ「高校生レストラン」のモデルとなり、卒業時に調理師免許が取得できる

相可高等学校校食物調理科の他とは異なる取組み紹介がありました。

今回、初めて参加させていただき大変有意義な話しを聞ける機会となりました。



令和7年度 県高P連大会・指導者研修会

総務部 栄 秀樹

標記大会・研修会が10月21日、ホテルグランテラス富山で開催され、本校からは福村会長、山本監事、南部校長、栄の4名が参加しました。研修会では、魚津工業高校、富山高校、大門高校、雄峰高校よりPTA活動の事例発表が行われました。雄峰高校の発表では、親子のウェルビーイングを考えるため家庭生活に関するアンケートを実施

したところ、子どもは親との時間を望む一方、親は子どもへの心配から悩みを抱えやすい傾向が示されました。家庭に居心地のよい雰囲気をつくる

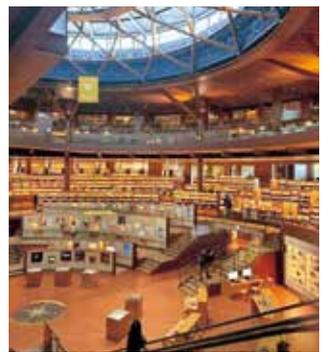


子どもの明日への原動力になるとの分析でした。続く記念講演では、古川理沙氏が「学校というコモン育ち合う力を取り戻す」と題して講演され、代表を務めるひより保育園での調理活動や日々の活動を子どもたちが話し合っている決める取り組みが紹介されました。子どもが主体的に選ぶ行動する力を育てるためには、大人が先回りせず、失敗も含めた経験を支える姿勢が重要であると認識しました。

大人の遠足

研修委員 小澤美和子

十月十五日(水)、PTA研修会「大人の遠足」が開催され、先生方を含む十五名が金沢工業大学を見学しました。清掃が行き届いた快適な学習環境のもと、ノーベル賞受賞者ジョンクラーク氏の音声ガイダンスが好奇心を刺激します。印象的だっ



たのは学生の主体的な学びを促す多様な施設と制度です。

ライブラリーセンターでは女性専用フロアや専門書が学科ごとに分類され、教員が指導や相談に応じる「学習指導デスク」が用意されています。PMCフロアでは学生のサポートのもと、ジュークボックスやスタジオで色々な音楽を聴くことができま



す。他にも大学の魅力を高めるために、色々なアルバイトを募集していたり、学生寮をリノベーションしたりと、学生が自由に挑戦し、実践的な学びの場を提供する環境にあると思います。

保護者のひろば

PTA役員!?

学年委員 谷 圭子

「PTA役員やってみたい?」と知人から声をかけられたのが一年生の三月でした。なんとなく、で引き受けた役員でしたが、なかなか楽しく結局二年間活動させていただけました。春は校長先生はじめPTA新旧役員の方々との懇親会。みなさん賑やかです。六月の体育大会では、広報の仕事はありますが、参加すれば我が子を間近で撮影でき、昼食付でした。

大人の遠足では今回、金沢工業大学見学後、石川県立図書館での自由行動。先生方ともフレンドリーな時間を過ごしました。

自ら手を挙げてPTA役員になる方は少ないと思いますが、役員になれるいろいろな先生と知り合えますし、学校行事では駐車場の確保といった特別な特典もあります。ない役員に、なんでも参加してみませんか?



進路探訪（2学年） 関西方面

8月19日（火）から21日（木）の3日間、2学年では進路探訪に行ってきました。全行程バスで移動し、1日目は滋賀県立大学を訪問、夕食後はクラスごとに企画した催し物で交流会を楽しみました。2日目は大阪・関西万博とUSJの主題型施設企業を見学し、最先端の技術やエンターテインメント、異文化に触れました。3日目は企業・大学を1箇所ずつ組み合わせた4コースに分かれ、グループごとに研修を行いました。

見学先(コース別) 〈3日目〉

1号車	関西量子科学研究所（京都府）	京都産業大学
2号車	京の食文化ミュージアム	同志社大学（京都府）
3号車	JICA関西（兵庫県）	大阪産業大学
4号車	ATCエイジレスセンター（大阪府）	佛教大学（京都府）



大阪産業大学



同志社大学



佛教大学



京都産業大学 神山天文台



滋賀県立大学



ユニバーサルスタジオ



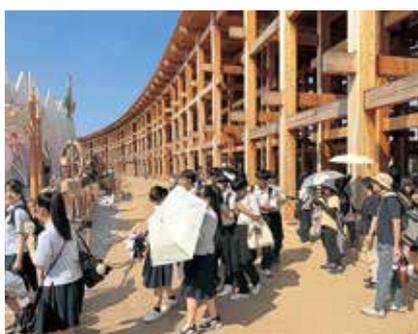
ATC エイジレスセンター



JICA 関西



京の食文化ミュージアム



大阪・関西万博 大屋根リング



大阪・関西万博 null



大阪・関西万博 オーストラリアパビリオン

高 啼 祭

9月22日(月)・23日(火・祝)



高啼祭を 振り返って

学年委員

吉平 真絵

私はPTA学年委員として、九月二十三日(火・祝)に開催された高啼祭での焼きそば販売を担当しました。前回はコロナ明けということもあり、おにぎり販売のみでしたが、今回はPTAメンバーと協力し、焼きそばの調理・販売を行うことができました。当日は一般の方や在校生で会場は大変にぎわい、用意した焼きそばもありがたいことに完売しました。また、学年や部活動の出し物を見学する機会もあり、この日のために日々努力を重ねてきた生徒たちが、充実した表情で参加している姿がとても印象に残りました。今後この素晴らしい高啼祭が続いていくことを願っています。PTAとして関わることができ、大変貴重な経験となりました。

地域学習(一学年)



これまで一学年では、教員によるレクチャーとフィールドワークを中心に地域学習を進めてきました。今年度からはグループ

ごとにテーマを設定し、主体的な探究活動を進めた上で、ポスターセッションによって成果を発表するという形に改められました。

七月には課題設定の契機となるよう曳山会館、おわら資料館を訪問しました。また、八月には八尾町の文化、伝統に造詣が深い七名の外部講師を招き、お話を伺いました。熊の出没やインフルエンザによる学級閉鎖などスケジュールの変更を余儀なくされましたが、主体性を高める活動として次年度に引き継がれます。



PTA 研修会 講演会

よりよく生きるための「意思決定」とは

～将来の生活をイメージしてみよう～

講師 あんびるえつこ氏 (生活経済ジャーナリスト、文部科学省消費者教育アドバイザー)



研修委員長 井上美友紀

十一月二十一日(金)、講演会を開催しました。高校生を取り巻く環境は、親世代が経験した社会状況とは大きく異なります。変化の激しい時代を生きる手がかりを、消費者教育の視点から得たいと考え、企画しました。

あんびるえつこ先生のお話は大変わかりやすく、参加者に話しかけつつ進みます。当日は二年生も参加し、家計シミュレーションをしたり、「買いたい!」と思わせる広告の仕掛けを見つけたたり、ワークシヨップは盛り上がりました。経験談には強い説得力があり、みな息をのむように聴き、引きこまれました。

収入には限りがあり、何かを選ぶことは何かを諦めること。他人と選ぶものが違うのは価値観の違いがあるから。自分の価値観を見極めながら「ひとつひとつの意思決定に自信をもつと、不安は消えていく」というまとめは、生徒たちへの励ましと受けとめました。終了後は、講師と役員の座談会も行いました。

自分にとって大切なものごとは何かを考え、向かい合う機会ではない。「お金の使い方」に正解はない。自分の幸せだけでなく、他人の幸せも考えられるような社会的なありかたが大切」という言葉が心に残ります。

卒業生からの言葉

三年間を振り返って、家族への
感謝の言葉を書いてもらいました。

- 31 H
 - ✿ 受験が近づくにつれ不安になる僕を励ましてくれてありがとう。
 - ✿ 毎朝起こしてくれてありがとう。お願いします。
 - ✿ いろいろなことにしっかりと向き合い協力してくれてありがとう。たくさん協力があって、ここまで乗り越えてくれました。
 - ✿ 忘れ物しっちゃったとき、あきれながらも届けてくれてありがとう。
 - ✿ 休日の部活の送迎をしてくれたり、イベントやコンクールの応援をしてくれたりしてありがとう。ございました。
 - ✿ 朝早くから毎日弁当を作ってくれてありがとう。
 - ✿ 三年間部活の送迎などで大変お世話になりました。ありがとう。ございます。
 - ✿ 進路と一緒に考えてくれたり毎日おいしいご飯を作ってくれたりしてありがとう。
 - ✿ どんな時も一番近くで僕を支えてくれてありがとう。ございました。
 - ✿ 中学から合わせて六年間塾への送り迎えありがとうございました。
- 32 H
 - ✿ どんな時も支えてくれてありがとう。ございました。部活動の大会でいろんなところに応援に来てくれてうれしかったです。
 - ✿ 三年間毎日お弁当を作ってくれてありがとう。おかげで元気なまま18歳を迎えることができました。ありがとう。
 - ✿ 高校三年間、支えてくれてありがとう。これからも迷惑をかけると思うけど、少しずつ恩返しができるよう頑張ります。
- 33 H
 - ✿ 高校生活三年間、延いては誕生から十八年間本当にお世話になりました。まだまだ迷惑や心配をおかけする事になりそうですが、これからも何卒よろしくお願いします。
 - ✿ いつも私の意見を大切に受け止めて尊重してくれてありがとう。これからも将来の目標に向かって頑張ります。
 - ✿ 毎日、家事をしたり弁当を作ったりして生活を支えてくれたことにも感謝しています。
 - ✿ 今日まで育ててくれてありがとう。大好きだよ！これからもよろしくお祈いします。
 - ✿ 今まで色々なことに挑戦させてくれてありがとう。これまでの挑戦は私に良い意味でも悪い意味でも色々なことを経験させてくれました。この経験を糧に大学でも頑張っていきます。
 - ✿ 当たり前のようには支えてくれた家族に感謝しています。これからも頑張ります。
 - ✿ いろいろとわがままも言ったけど、信じて私のやりたいことを応援してくれてありがとう。
 - ✿ いつも朝早くにお弁当を作ってくれてありがとう。受験でたくさんサポートしてくれてありがとう。
 - ✿ 三年間、送り迎えやお弁当を作ってくれてありがとう。ほとんど休むことなく、健康に過ごせました。
 - ✿ たくさん迷惑かけたけど、いつも応援してくれてありがとう。そのおかげで部活も学校もがんばれました。
 - ✿ いつも相談に乗ってくれたり、支えてくれたりしてありがとう。明るくて最高の家族のおかげで毎日元気に学校に行けました。
- 34 H
 - ✿ 毎日弁当作ってくれてありがとう！様々な相談に乗ってくれてありがとう。日々、元気に学校へ行くことができた。
 - ✿ 部活動の送迎や毎日弁当を作ってくれてありがとう。自立できるように頑張ります。
 - ✿ 毎日話を聞いてくれて、寄り添ってくれてありがとう。どんな時も味方でいてくれてありがとう。
 - ✿ 三年間、お弁当を作ってくれてありがとう。お母さんの作ったご飯が大好きです。
 - ✿ 些細な変化に気付いて声をかけてくれてありがとう。そのおかげで悩みを相談しやすく、心が救われました。
 - ✿ 悩んでいる時も、笑っている時も、ずっと支えてくれてありがとう。これからもよろしくね。
 - ✿ 部活で忙しい三年間だったけど、いつも私のために送り迎えやお弁当を作ってくれてありがとう。そのおかげで、三年間部活を頑張ることができました。
 - ✿ 毎日仕事が大変ななか、お弁当を作ったり送り迎えをしてくれたり、三年間たくさんのサポートに支えられました。ありがとう。ございました。
 - ✿ 18年間育ててくれてありがとう。まだ迷惑かける時があるかもしれないけど、親孝行できるように頑張ります。
 - ✿ 時に優しく時に厳しく私のことをよく考えて支えてくれてありがとう。その支えで私は元気に過ごせました。

贈る言葉

卒業生のみなさんへ

広報委員 浅野 清雅

三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

皆さんが学校生活を振り返ったとき、思い出すのはいつでしょうか。それは、教室での些細な日常の事であったり、部活動の事であったり、体育大会や高崎祭のような行事であったりするかもしれません。

三年生での最後の体育大会はより力をこめて取り組み、高崎祭では、準備に追われながらも、仲間と協力してより良いものを作ろうと頑張っていたと思います。そうして皆さんの輝かしい思い出ができたことと思います。

皆さんは、自らの選択でこの八尾高校に入学し、新たな友人と出会い、目標に向けて仲間たちと協力しながら成長してきました。今後、入学した時と同様に自らの選択で新たな世界に踏み出していきます。そして、また多くのことを経験し、困難にぶつかるとや選択を強いられることがあります。その時に、この三年間で経験したこと、得たものはきっと皆さんの力になってくれると思います。仲間を大切に、夢に向かって突き進んで欲しいと思います。



令和7年度 2・3学期 部活動成績

〈美術部〉

◎第50回富山県青少年美術展

絵画部門 入選 中村 晃大
 デザイン部門 入選 五十嵐百香 本多 真唯 古賀 日葵
 写真部門 入選 岡田 玲威 中邑 颯汰 加藤 綾夏

◎美の祭典越中アートフェスタ2025

平面部門 入選 本多 真唯 高田 美空

◎第43回富山県高校生の平和作品展

造形部門(平面) 佳作 古賀 日葵

〈書道部〉

◎第50回富山県青少年美術展

書部門 入選 藤井 りお

◎第67回富山県小・中・高校生書初め大会

推選 深杉 美希 矢郷 有依
 特選 笹山 馨 本江 華



高総文祭 (郷土芸能部)

〈ソフトボール部〉

◎第22回富山県高等学校秋季大会 ソフトボール競技

2位 ソフトボール部

〈演劇部〉

◎2025年度新川・富山地区高等学校演劇研究発表会

奨励賞 演劇部

〈陸上部〉

◎第62回富山県高等学校新人陸上競技対校選手権大会

共通男子三段跳 4位(北信越大会出場) 野上 蒼真
 共通女子円盤投 5位 黒田桜乃華

〈郷土芸能部〉

◎大阪・関西万博 出演 郷土芸能部

◎第37回富山県高等学校文化祭

郷土芸能部門 最優秀賞 郷土芸能部

〈吹奏楽部〉

◎第6回JBA管打楽器ソロコンテスト富山県大会

高校生の部 金賞 山田 雅仁 高尾 隆誠

◎第47回富山地区アンサンブルコンテスト

フルート三重奏 銀賞 新 由凧 大窪 芽唯 経田 侑里
 クラリネット四重奏 銀賞 佐藤慶一郎 加藤 愛琉 佐野 円香 中出 杷那
 金管八重奏 銀賞 荒本依緒例 五十嵐威吹 高尾 隆誠 中田 誠人
 打楽器三重奏 金賞 藤井 心音 長谷川大空 藤井 優衣 島田 祥成
 岡本 夕奈 楠 和華 島竹 翔太



国スポ 女子シングルスカル 3位
 宮口 迪子
 滋賀県琵琶湖漕艇場にて

〈ボート部〉

◎第79回国民スポーツ大会ローイング競技

少年女子シングルスカル 3位 宮口 迪子

〈バレー部〉

◎第27回婦中町バレーボール協会杯

高校女子の部 2位 バレーボール部

〈サッカー部〉

◎高円宮杯 JFA U-18 サッカーリーグ2025 富山

カテゴリ T3 フェアプレー賞 サッカー部

〈図書〉

◎令和7年度校内読書感想文コンクール

最優秀賞 白石 心和 澤村 円香 優秀賞 福村 彩華 江上 紅花 佳作 長谷川和也 佐野 円香

〈水泳〉

◎第41回富山県高等学校新人水泳競技大会

男子100m背泳ぎ 2位 石母田 颯 男子50m背泳ぎ 3位 石母田 颯

〈その他〉

◎第20回婦負野短歌大会

高校生の部 優秀賞 久和 圭太 中村 晃大 廣井 美桜 小林久琉海
 佳作 宮先峻太郎 上田 桃櫻 数井 七星 大井 柚菜

◎おおしま国際手づくり絵本コンクール2025

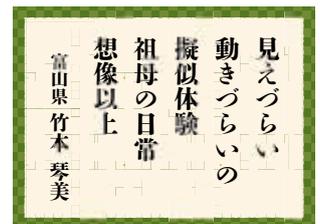
ジュニアの部 奨励賞 稲垣 里菜

◎新・介護百人一首2025

表彰 竹本 琴美

◎令和7年度八尾町青少年育成標語コンクール

入賞 永川 綾乃 佐々木康丞 鶴木 悠人 本多 真唯 山口真依里 井田 柚華 高橋 里奈 田淵 音羽
 牧田 帆叶 河口 美晴 高林 千紘 安川 絢 吉原 由芽 米澤 瑞稀 若松 若松
 海津 直人 河部 俊太 富澤 京夏 林 祥希 吉原 凜 加藤 愛琉 黒田桜乃華 坂田真太郎
 毛利 姫菜 森 悟史 澤田 柚香 丸尾 亜美 佐藤 響 金森 大輔 丹野 瑛太 寺本 伶央
 植野 友那 岡本 杏 高島 万璃 田中 義弘 二橋 瑞妃 小林久琉海 谷口 愛桜 森 くるみ
 吉田 芽生 吉平 有那



今後の予定

2月27日(金) 卒業式予行

同窓会入会式

3月2日(月) 第78回卒業式

3月5日(木)・6日(金) 県立高校一般入学者選抜

(家庭学習日)

3月10日(火) 県立高校一般入学者選抜追検査

(家庭学習日)

3月13日(金) 県立高校合格発表

3月24日(火) 3学期終業式

3月24日(火) 合格者説明会(午後)

4月8日(水) 1学期始業式

入学式

広報委員会

- 浅野 清雅 (広報委員長)
- 五十嵐英史子 (広報委員)
- 中出 好美 (広報委員)
- 福村美由紀 (井泉会会長)
- 堺 康浩 (副校長)
- 栄 秀樹 (総務部長)
- 飯田 康信 (総務部)

